

発注企業動向調査結果

-2016.7-

■調査時点 平成28年6月調査(平成28年6月末時点)

■対象企業 150社

■調査時期 4半期毎(3、6、9、12月末時点)

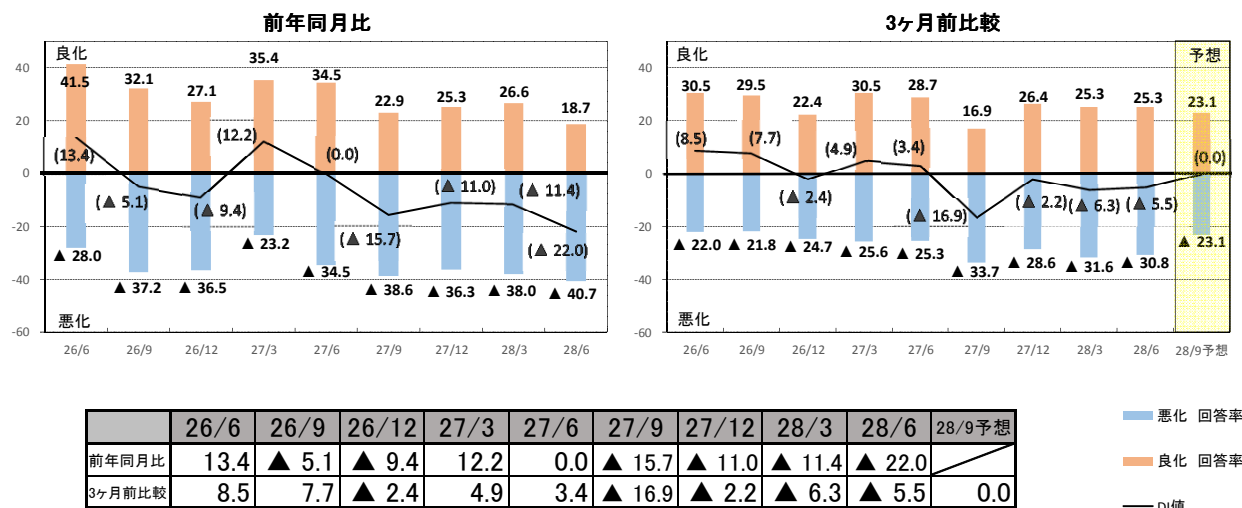
■回答企業 91社(回答率:60.67%)

<業種内訳>

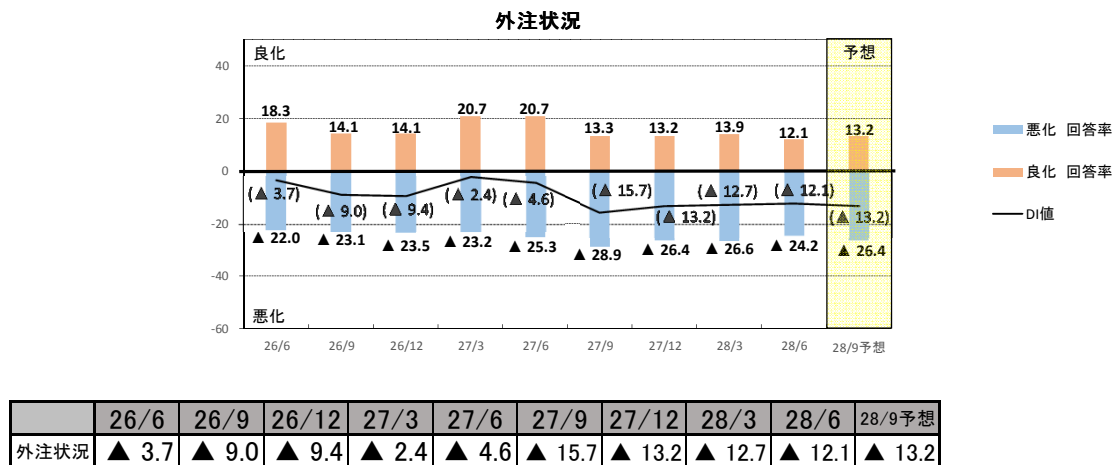
プラスチック	11社
鉄鋼・非鉄	9社
金属製品	7社
一般機械器具	19社
電気機器	20社
輸送用機器	19社
精密機器	1社
縫製	5社
計	91社

DI(Diffusion Index)とは、景気の動きをとらえるための指標であり、良化と回答した企業の割合から、悪化と回答した企業の割合を減じた数値です。

●生産高



●外注状況



●概要(総合)

- ・生産高(前年同月比)のDIは▲22.0で前回の▲11.4から10.6ポイント減で大幅悪化となった。
- ・生産高(3ヶ月前比較)のDIは▲5.5で前回の▲6.3から0.8ポイント増で横ばいとなった。
- ・外注状況(3ヶ月前比較)は▲12.1で前回の▲12.7から0.6ポイント増で横ばいとなった。
- ・3ヶ月後の予想DIは生産高が0.0で5.5ポイント増の良化、外注状況が▲13.2で1.1ポイント減の横ばいとなった。
- ・為替が円高傾向にあり、海外での現地調達が進んだことにより、国内生産が大幅に減少しているとの声が多く聞かれた。今後は良化傾向ではあるが、このまま円高が進むのであれば、輸出の減少、海外生産の増加につながり、国内で生産している企業にとっては厳しい状況になっていくと予想される。